

ふくおか@のふくし

Welfare of Fukuoka



福岡ソフトバンクホークスのご協力による記者発表会の様子(関連記事8頁)

今号の内容

- P1 特集 コロナ禍における社会福祉関係者の取組
- P4 令和2年7月豪雨災害 福岡県内における被災者支援活動
- P6 ふくふくNEWS
- P7 10月1日から「共同募金運動(74回目)」がスタート
- P9 ふくふくInfo

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。

ふくおかのふくし 178号 発行所/福岡県社会福祉センター(クローバープラザ)内 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日/2020年(令和2年)9月30日 編集発行人/川口弘毅 印刷所/株式会社 日報

UD FONT 鳥やさいごバーサルデザインフォントを採用しています。

令和2年度

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険
ホームページ)

団体割引 20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

(引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



コロナ禍における 社会福祉関係者の取組

新型コロナウイルス感染症については、国を挙げて感染拡大防止に向けた取り組みが行われていますが、依然、収束の見通しは不透明な状況です。「新しい生活様式」が提唱されるなど、これまでどおりの日常生活を続けていくのは困難な状況の中、社会福祉施設における新型コロナウイルスの感染対策や、コロナ禍における地域福祉活動に取り組む社会福祉協議会を紹介します。

社会福祉施設の取組

【特別養護老人ホーム 緑の里の取組】

緑の里では、新型コロナウイルス感染症が全国で広がりをみせはじめたころから、施設における感染症防止対策を早急に考える必要がありました。すぐに法人内で感染症対策会議を開き、今まで行ってきたインフルエンザやノロウイルス等の感染症対策を基本にしながら、新たな感染症防止対策をつくり、ご利用者にも協力いただきながら法人全体で徹底することとしました。

新たな感染症防止の主な対策として、職員のマスク着用の義務付けや手洗い・消毒の徹底をはじめ、密を避けるため、食事や入浴時の工夫、リハビリスタッフ等の応援職員の派遣中止、面会方法や業者への対応も見直ししました。

また、感染症防止対策を行うために必要な消毒液等の備品の確保・管理にも気を配っています。マスクの入手が困難な時期には、職員から「自分が使用するマスクが入手できない」との相談があったため、



送迎車輛の消毒の様子

法人の在庫から各職員に配布することを対策会議で決定し、その時期を乗り越えることができました。

感染症対策会議は、毎週定期的に開催し、日々変わる状況への対策を話し合っています。また、国・県からの情報や県内のクラスターの発生情報等により、その都度、今行っている感染症防止対策を見直すようにしています。また、会議の内容は、確実に全職員が情報共有できるように、全職員にメールで周知するようにしています。会議の内容によって参加人数が増える場合は、施設内の各部署からWebを活用し会議に参加するなど、会議を行う際も十分な対策をとっています。

終末期への対応

現在まで様々な対策を考え、実施してきましたが、緊急事態宣言後に、ご利用者のお一人が終末期を迎えることとなったため、感染のリスクや本人、ご家族の気持ちを考えながら、どのように対応していくか話し合いを重ねました。

その結果、感染リスクはありませんが、ご利用者様とご家族の気持ちに寄り添い、面会されるご家族には日頃から感染防止に気を付けていただくことを伝え、その上で、施設内では他のご利用者との接触を避けられる場所にベッドを移し、部屋での面会人数や対応する職員を制限しながら終末期をご家族とご一緒に迎えてもらいました。ご家族からは「コロナ禍の中でこのような対応をしていただいたこと、とても感謝しています」とお言葉をいただきました。

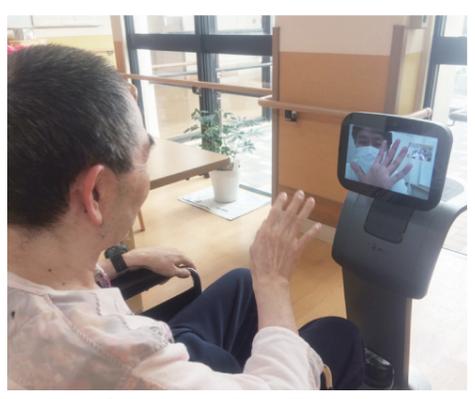
施設見学希望者への対応

また、施設見学希望の連絡をもらいましたが、この状況下では施設見学を受け入れられないため、お断りいたしました。そこで職員間で「せつかく施設見学希望者がいるなら自分達で少しでも施設内の状況がわかるように施設紹介動画を撮ろう」ということが決

新しい面接方法の取組

急にご家族との面会ができなくなりました。施設見学ができる見通しが立つまでは、少しでも施設の雰囲気を知っていただくため、その作成した施設紹介動画を閲覧いただいています。なお、作成した動画はホームページで公開しています。

急にご家族との面会ができなくなりました。面会できない期間が長く続くこと、ご利用者やご家族にとっても疎遠になることが懸念されました。そこで、直接、ご家族に会えない代わりに、なるようなことができないかと考え、普段見守りのために巡回している介護ロボットを活用してみようということになりました。



介護ロボットを活用した面会の様子

社会福祉協議会の取組

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出の自粛や人と人との接触を減らすことが求められ、市町村社協で取り組んでいる地域福祉活動も休止せざるを得ない状況となりました。各市町村社協では、感染防止策を講じながら、地域における安全・安心な生活の持続に向けた事業・活動の再開に取り組むことが求められています。今回は、市町村社協において、さまざまな工夫をしながら取り組んでいる地域福祉活動の一部を紹介します。

【筑後市社会福祉協議会の取組】

感染拡大防止に配慮した 住民福祉講座の実施

毎年、住民向けの学習会として「くらしと福祉の学級」を開催していますが、今年はこれまでのような方法で実施することが困難であると判断し、これまでと趣向を変えて、9月19日(土)に「総合福祉センター」からの挑戦状

おやこdeなぞときクエスト」と銘打って、子どもとその保護者を対象に開催しました。

この取組は、普段、総合福祉センターを訪れる機会が少ない子どもたちやその保護者に、総合福祉センターや社会福祉協議会のことを知ってもらおうことが目的でした。謎解きをしながら、社会福祉協議会の活動内容と総合福祉センターがどのような場所なのかを学んでもらうことで、必要な時にはいつでも来ていい場所であることを親子に知ってもらおうことができました。

参加は事前申込制で、時間を区切って複数回開催したことで、密集することを防ぐことができました。また、謎解きの答えを他の参加者に聞かれないように、館内では小さな声で話してもらったり、感染予防策を講じながらの取組となりました。



「新宮町社会福祉協議会の取組」

民生委員・児童委員や福祉委員を通じた高齢者や子育て世帯等への情報提供

緊急事態宣言の発令などにより、地域でのサロン活動が実施できなくなり、高齢者や子育て中の親子の外出機会が減っていききました。そこで、見守りも兼ねて、外出自粛期間中に役立つ情報を提供することとしました。

社会福祉法人や医療法人、企業などの協力により、「自宅」でできる介護予防メニュー」や「管理栄養士が考える1週間レシピ」、「弁当を配達してくれるお店」などのパンフレット等を作成し、その情報を民生委員・児童委員や福祉委員を通じて提供する取組を行っています。

感染拡大防止に配慮しながらの取組となるため、民生委員・

児童委員や福祉委員による見守り活動も様々な制限が必要となりますが、配布するチラシ等があることで、見守る側も活動しやすく、また、外出機会が減った方々の孤立防止や気分転換などにつながっています。



自宅のできる介護予防メニュー

令和2年7月豪雨災害 福岡県内における被災者支援活動

令和2年7月3日以降、梅雨前線の影響により、九州や中部地方など全国各地を記録的な豪雨が襲い、河川の増水や土砂災害により複数の死者・行方不明者を出し、家屋や道路が損壊するなど甚大な被害をもたらしました。

福岡県においても、特に被害の大きかった大牟田市・久留米市では災害ボランティアセンター(以下、災害VC)を設置し、地元社協を中心に、コロナ禍のなかで工夫しながらボランティアとともに被災地支援が展開され、8月31日時点で約1600人ものボランティアの方々が活動しました。

福岡県社協の動き

福岡県社協では、7月7日に常務理事を本部長とする福岡県社協災害救援本部を設置し、県内の情報収集・発信や関係機関との連絡調整、各災害VCへの職員派遣調整を行いました。災害VC運営における人的支援として、県社協から延べ64名(大牟田市に47名、久留米市に17名)を派遣しました。また、大牟田市災害VCからの要請に基づき、近隣市町村社協(筑後地区社協)職員の派遣調整を行い、7月14日から8月8日まで延べ84名を派遣いただきました。

また、災害VC運営に関して、新型コロナウイルス感染症や熱中症への対策を整理した資料を作成し、市町村社協あて配布しました。

新型コロナウイルス感染症対策

今回の豪雨災害においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した支援活動が求められました。

各災害VCでは、検温・消毒の徹底をはじめ、ボランティアの募集範囲や1日の活動人数の制限、災害VCへの集合時間をずらす等、3密を避ける工夫がなされました。また、熱中症対策も行いながら活動を行いました。

主な新型コロナウイルス感染症対策

- 

予防①
マスクの着用
- 

予防②
検温・消毒の徹底
- 

予防③
ボランティアの募集範囲の制限
- 

予防④
1日の活動人数の制限
- 

予防⑤
集合時間をずらす等、3密を避ける工夫

こまめな休憩や水分補給など熱中症対策にも注意



「コロナ禍の暮らしを社協が守る」

「生活福祉資金(コロナ特例貸付)」

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、その防止のため、緊急事態宣言が発令され、学校の一時休校や外出自粛、休業要請など様々な対策がとられました。

これに伴う社会的・経済的影響は大きく、多くの国民が以前の生活を維持できない状況となっています。

こうした中、社協はこれまでの災害時の支援経験や実績を基に、生活福祉資金の緊急小口資金と総合支援資金という2種類の特例貸付を開始することとなり、福岡県社協では全国に先駆けて3月23日に受付を開始しました。

準備期間もほとんどなく、家計を直接支援する仕組みが他にない中、受付窓口となった市町村社協にはリーマンショックをはるかに超える申し込みが殺到することとなりました。

市町村社協は、激務の中、「住民の暮らしを守る」という使命感に支えられ、休日を返上するなど、懸命な対応が続けられています。

9月15日現在、県全体で約8万件、270億円の貸付決定となっており、今後は貸付中、貸付後の生活の立て直し支援が期待されています。

認知症高齢者グループホームの皆様にお知らせです。
**受審事業所の負担軽減を図るため、
 手数料を値下げ**しました



地域密着型サービス外部評価事業のご案内

福岡県社会福祉協議会(以下「福岡県社協」)では、平成17年から、福岡県から外部評価の選定を受けた評価機関として外部評価事業を実施しています。【累計827件の評価実績】

【現行】

- 3ユニット以下 95,000円
- 4ユニット以上 125,000円

【令和2年度から】

- 3ユニット以下 **90,000円**
- 4ユニット以上 **120,000円**

申込み方法

下記ホームページアドレスで、申込書をダウンロードのうえFAXでお申し込みください。

※現在、11月の訪問調査の希望が申込多数のため、訪問調査を他の月に変更していただいております。申込多数の場合は、お断りする場合がございますので、早めの申し込みをお願いいたします。
<http://www.fuku-shakyo.jp/jigyo/miccyaku/miccyaku.html>

【申込み・問い合わせ先】 評価推進課 TEL:092(584)3610 FAX:092(584)3790

**地域ボランティア活動支援のための助成事業
 令和2年度の助成団体が決定しました**

本会では、西部ガス(株)、(一財)福岡県職員互助会とともに、標記事業を実施しています。

この事業は、住民参加型の地域活動を促進し人々やさい社会づくりに資することを目的に、広く社会貢献の心をもってボランティア活動を実施している団体等に対して、1団体あたり30万円以内で活動期間(2年間)の助成を行っています。

各団体へのヒアリングや外部有識者等で構成する助成事業審査委員会による審査を経て、今年度は29団体への助成(総額853万円)が決定しました。

助成金は、高齢者のふれあい・いきいきサロンや子ども食堂等、高齢者や子ども達の居場所づくりの活動、障がいがある方や認知症の方が住みやすい地域づくりを目指した活動等に使われます。



●各助成プログラム/決定団体数

西部ガス(株) ボランティア助成プログラム	5団体
(一財)福岡県職員互助会 ボランティア助成プログラム	10団体
福岡県社会福祉協議会 ボランティア助成プログラム	14団体

※助成団体は本会ホームページに掲載しています。

福岡県におけるボランティア活動の一層の振興・発展につながることを期待します。

【問い合わせ先】共生社会推進課
 TEL:092(584)3377



被災地家屋の片付けの様子



泥水で汚れ、重くなった量の搬出作業の様子

大牟田市災害VC

大牟田市社協では、7月9日に大牟田市災害VCを開設し、7月13日からボランティア活動を開始しました。ボランティア募集は有明圏域定住自立案の6市町(大牟田市、みやま市、柳川市、荒尾市、南国町、長洲町)に限定し、事前登録制で活動を行いました。市内での災害VC立ち上げは今回が初めてとなりましたが、行政をはじめ、民生委員・児童委員や地域包括支援センターとも連携しながら被災者のニーズ把握を行う等、協力体制のもと運営が行われました。9月1日以降は、通常VCに移行して対応しています。

久留米市災害VC

久留米市社協では、7月9日に久留米市災害VCを開設し、7月12日からボランティア活動を開始しました。ボランティア募集は県内在住者に限定し、事前登録制で活動を行いました。市内の広範囲が被災したため、効果的・効果的にボランティア活動が行えるよう、災害VC本所の外に、被害の大きかった北野地区・城島地区の2カ所にサテライト(災害VC支所)を設置しました。ニーズが一定収束したことから、8月6日以降は、通常VCに移行して対応しています。

今回の豪雨災害をとおして

これまでのように全国各地からボランティアや支援者に来ていただくことはできませんでしたが、オンラインでの情報共有会議を実施したり、ボランティア向けのオリエンテーション動画を公開したりするなど、ICTを活用した新たな災害VC運営のかたちが広がっています。

災害VCを設置していない市町村においても、地元社協を中心とした支援活動が行われました。八女市では、災害時相互協力協定団体および社会福祉法人連絡会レスキュー部会との連携により被災者宅の片づけ等を行いました。大刀洗町では、常設のボランティアセンターで活動し、5件のニーズに対応しました。その他にも、行政をはじめ、社会福祉法人、NPO団体、青年会議所、エフコープ生活協同組合や多くの企業など様々な関係機関が連携し、県内各地の災害復興支援が展開されました。



久留米市社協が作成したボランティア向けオリエンテーション動画

また、近年では、広範囲で甚大な被害をもたらす災害が頻発しているため、今回のコロナ禍での対応を踏まえ、それぞれの地域で十分な支援活動が行えるよう、日頃から行政や地域住民、近隣社協や地元企業などの関係団体との連携・協力体制をより強固なものにしていく必要があるといえます。

10月1日から「共同募金運動(74回目)」がスタート

令和2年度 赤い羽根キャッチフレーズ (最優秀作) 「地域の輪 つなぐ広げる 赤い羽根」

●共同募金運動開始

共同募金運動は、民間の福祉活動を支援するため、住民主体の自主的な活動として、昭和22年に全国一斉に始まり、今年で74回目を迎えます。

今年の共同募金運動は、例年と異なり、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の影響を受け、人と人とが距離を取ることで、接触する機会を減らすことが求められることとなりました。他者とのこれまでどおりのコミュニケーションが難しくなるなか、長期化、深刻化する様々な福祉課題を的確に捉え、民間活動ならではの柔軟で臨機な対応を県民の皆様と展開していくことが求められています。

具体的には、街頭募金を実施する際には、呼びかけの相手方となる方々の感染症に対する不安などの感情へ配慮し、人数を減らしたり、フィジカルディスタンス(物理的身体的距離)の確保に努めます。また、これまで行ってきた企

●赤い羽根応援大使

県共同募金会では、共同募金運動を県域でアピールし、応援いただく方を増やすため、福岡県民に絶大な人気を誇る福岡ソフトバンクホークス球団の全面的なご支援のもと、今年は周東佑京選手と甲斐野中央選手に「赤い羽根応援大使」にご就任いただきました。今後は、本県における共同募金運動の「顔」となって、広報啓発等にご協力いただけます。

●委嘱状交付式及び記者発表会

去る8月25日(火)、福岡ペイペイドームで、応援大使の委嘱状交付式とポスター・キャッチフレーズ等の記者発表会を行いました。委嘱状交付後、赤い羽根応援大使として、周東選手から「赤い羽根共同募金をとりまく環境は厳しいと聞いています。少しでも協力していただける方を増やしていくようにPRしていきたいです。」とメッセージをいただきました。



周東 佑京選手

業等の訪問による法人募金の実施についても、訪問する側の募金ボランティアや関係者はもとより、訪問を受ける法人側の関係者の皆様を含めた健康と安全を意識し、衛生配慮や非接触に配慮した方法として、例えば、訪問ではなく、文書送付による協力依頼やインターネット募金等を活用するなど、地域の状況に応じた取り組みを工夫することとしています。(※インターネット募金は、次頁参照)

皆様からの募金は、その約75%が集められた地域(市区町村)に還元され、様々な福祉課題の解決を目指して実施される福祉活動に活用されることとなります。今日は、コロナによる生活困窮問題をはじめ、「高齢者の見守り・訪問事業」や「子育て支援事業」、「障害者の自立支援」などの地域で行われる福祉活動だけでなく、「福祉施設の施設整備」等の地域の福祉活動の支援、「大規模災害時のボランティア活動の支援な

また、今年の最優秀作の作者である津田さんからは、「自分が住んでいる地域の戸別募金で地域が活性化されていることを知りました。その募金によって地域の輪が広がり、それを未来に繋げていきたい。」とキャッチフレーズに込めた思いを話していただきました。



津田 悠希さん

本県地域福祉の更なる推進を目指し、10月1日(木)から始まる共同募金運動に取り組んで参りますので、皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

※この発表会の様子は本会ホームページを通じて福岡ソフトバンクホークスオフィシャルYouTubeでご覧いただけます。

福岡ソフトバンクホークス球団と選手会等から被災地へ義援金

記者発表会に先立ち、今年7月の豪雨により甚大な被害を受けられた福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県の皆様への義援金をお預かりしました。お預かりした義援金は、本会から各県の共同募金会を通じて被災された方々にお届けさせていただきます。ありがとうございました。



ど、幅広い活用が期待されています。なお、こうした共同募金の使いみちについては、赤い羽根データベース「はねっと」(中央共同募金会ホームページ)ですべて公開しています。

●共同募金の仕組みと現状

共同募金会では、毎年、民間の社会福祉活動を行う団体などからの申請をもとに配分計画を立て、その計画に基づく事業を実施するために必要な額を「目標額」として掲げ、募金活動を行っています。

しかし、共同募金運動を取り巻く環境は厳しさが増しており、本県の募金実績は全国同様、平成11年をピークに

コロナ禍における共同募金のつかいみち

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国の緊急事態宣言以降、感染予防を前提とした新しい生活様式のもとの様々な対応が求められています。また、受配団体では、当初計画していた配分事業の見直しや一部中止等を余儀なくされています。

こうした中、福岡市博多区堅粕校区社協では、地域のボランティアの方々等が衛生面を考慮して作成した手作り布マスクにメッセージを添えて、民生委員が校区内の独居高齢者宅の郵便受けに投函、または郵送にて配布する活動を行いました。マスクが不足して大変な5〜6月の時期であり、大変喜ばれました。



年々減少が続き、この10年間は7億円で推移しています。

●理解や共感を高めるために
本県では、このような共同募金についての理解・共感を高めるとともに、自分たちも地域の一員であるという意識や責任感を持ってもらえるよう、毎年、県内の小中高生を対象に「赤い羽根キャッチフレーズ」を募集しています。今年も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各学校で臨時休校の措置が取られた中にもかかわらず、14の小中学校から2493点の応募をいただき、その中から、糸島市立前原中学校三年の津田 悠希(ゆうき)さんの作品を最優秀作品に決定し、今年のポスターやチラシ等に掲載するなど、共同募金運動の広報・啓発に活用しています。

インターネット募金のご紹介

赤い羽根データベース「はねっと」(一般公開用)を通じて「じぶんの町」の共同募金の使いみちがネット上で確認できるとともに、寄付者の利便性向上を図るため、またコロナ禍における非接触に配慮した募金方法として、ネット決済による寄付金の受入れを行っています。

※下記URLから福岡県内の市区町村支会に寄付ができます。
<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/homePref?data.prefCd=0040>

【問い合わせ先】
福岡県共同募金会
092(5)843388

寄付・寄贈の御礼

九州納豆組合様からの寄贈

去る7月10日(納豆の日)に夏の体力回復と納豆の普及を目的に、九州納豆組合様から福岡県内68か所の児童福祉施設へ納豆を寄贈いただきました。

この取り組みは子どもたちの健康と社会貢献を目的に1993年から実施されているもので、子どもたちの健やかな成長を願って、毎年寄贈いただいています。

(株)ツルハホールディングス様からの寄贈

今年度も、株式会社ツルハホールディングス様から福岡県内の社会福祉施設に車いす10台を寄贈いただきました。

この取り組みは、ツルハグループ店舗(ドラッグストア)、クラシエホールディングス株式会社との共同キャンペーンとして、売上金の一部で車いすを購入し、社会貢献を行うものです。平成12年以降、これまでに、全国の都道府県社会福祉協議会が車いすを寄贈いただいています。

研修・講座の御案内

①リスクマネジメント研修
経営管理者コース

日時 11月10日(火)
13時30分～16時30分
場所 クローバープラザ西棟
5階 セミナールームAB
対象 社会福祉施設及び市町村社会福祉協議会の理事長、施設長等の経営管理者
定員 60名
受講料 5,000円
申込 本会研修課HPより申込

②アンガーマネジメント研修

日時 A日程 11月17日(火)
B日程 11月18日(水)
各日程10時30分～16時
場所 クローバープラザ西棟
5階 セミナールームAB
対象 社会福祉施設及び市町村社会福祉協議会の中堅職員、リーダー等指導的立場にある職員(概ね勤務年数10年以上)
定員 各日程50名
受講料 5,000円
申込 本会研修課HPより申込

③業務改善研修

日時 A日程 11月24日(火)、25日(水)
B日程 12月22日(火)、23日(水)
各日程10時～17時
場所 クローバープラザ西棟
5階 セミナールームAB
対象 社会福祉施設及び市町村社会福祉協議会の管理者、施設長、業務改善を進める立場にある者
定員 60名
受講料 各日程10,000円
申込 本会研修課HPより申込

④令和2年度
ケアマネジャーのための
ファシリテーション研修

日時 A日程 11月10日(火)
B日程 11月11日(水)
各日程10時～17時
場所 クローバープラザ東棟
5階508研修室
対象 居宅介護支援事業所、老人福祉施設、地域包括支援センター等の介護支援専門員
定員 60名
受講料 5,000円
申込 本会研修課HPより申込

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、各研修を中止・延期する場合があります。

①～④の研修について

[問い合わせ先] 研修課
TEL 092 (584) 3401

福岡県社協研修課
ホームページ



その他

障がい者福祉情報ハンドブックを販売しています

本会では、福岡県から委託を受け、障がい者関係機関等における相談・支援業務の充実につながり、障がいのある方々やそのご家族の暮らしの充実のために活用していただけるよう、障がい者の制度・施策をとりまとめた「福岡県障がい者福祉情報ハンドブック」を隔年で発行しています。15回目の改訂となる2020年版では、障害者自立支援法から障害者総合支援法への改正や改正後の見直し、平成28年の障害者差別解消法の制定や障害者雇用促進法の改正等に伴う障がい児者を取り巻く様々な制度・施策、市町村が実施する地域生活支援事業等に関する内容等をより充実して掲載しています。

価格 1冊1,300円
(税込・送料別)

購入方法

下記窓口にお越しいただくか、下記QRコードもしくは本会HPから申込書をダウンロードし、FAXまたは郵送で本会あてにお申し込みください。

[問い合わせ先] 人材・情報課
TEL 092 (584) 3330
FAX 092 (584) 3319



福祉のしごと就職フェア in FUKUOKA

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においても、社会福祉施設・事業所等と求職者の出会いの場を提供できるよう、WEB版の「福祉のしごと就職フェア」を下記の日程で開催します。1回あたり120法人程度、一定期間閲覧できるよう計画しており、開催期間中は、参加法人の紹介や求人情報提供だけでなく、参加法人(一部)とZoomを使ったオンライン説明会も行います。参加するためには、**事前登録**が必要となります。詳細が決まり次第、本会ホームページで特設サイト等の告知をいたしますのでご確認ください。

令和2年度は**WEB版**



事前登録
必要

特設サイトにてお仕事情報を掲載

掲載法人 **約120法人程度**

掲載期間 **10月29日(木)～
11月5日(木)**

対象 **社会福祉施設・事業者への就職希望者
2021年3月末大学・専門学校等の卒業予定者**

[問い合わせ先]
福岡県福祉人材センター ☎092 (584) 3310



ライブ配信も同時開催!!

10月29日(木)・30日(金)
10:00～16:30(予定)

参加法人 **約20法人(予定)**

Zoomを使用 チャットで質問可能

タイムスケジュールに沿って、WEB上で説明会(ライブ配信)を行います。
◆法人の説明時間等(法人説明:17分、質疑応答:3分)
◆予備時間(次の法人との入れ替わり等:10分)

今後の予定 **第2回 12月中旬** **第3回 2月中旬**

「職員の確保・定着のために」ソウェルクラブを御活用ください!

福岡県独自事業

ジェフグルメカード (全国共通お食事券) ¥500	→	会員価格 ¥390
マリンワールド入場券 一般¥2,300	→	¥1,400
映画観賞券 大人¥1,800	→	半額
各種コンサートチケット、劇団四季、博多座等の人気観劇、アンパンマンミュージアム・美術館・博物館等の入場券等	→	約20%～ 30%割引

※令和2年度事業の一例

全国共通

国内ツアー、提携ホテル、テーマパーク、レジャー施設、スポーツクラブなどの会員割引等、	
全国約20万件の割引サービスあり!	
健康診断費用助成	最大¥4,120/名
結婚・出産・入学祝い 永続記念、資格取得記念	商品券贈呈 記念品贈呈
会員等死亡弔慰金 各種見舞金	各種給付金有
職員余暇活動費用助成	¥1,000/名

第1種会員(常勤職員向け) **毎年度1万円**
第2種会員(非常勤職員向け) **毎年度5千円**

※非常勤会員が第1種に入会することもできます。
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入要件については下記あてお問い合わせください。

●加入のお申し込み・お問い合わせ先

社会福祉法人 福利厚生センター TEL:0120(292)711
社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 TEL:092(584)3330

ソウェルクラブ 検索

